



山田町合併
50周年記念企画
History
of yamada town

昭和45年～54年

▲昭和46年当時の飯岡地区（現在の長崎地区）の風景
ほぼ中央部にはこんもりとした山「イジマ」があった。
場所は現在の長崎二丁目1番23号に当たる

■主な出来事

元号（西暦）	主なできごと
昭和45年（1970）	3月 山田電報電話局が開局 山田小学校関口分校が閉校 9月 皇太子ご夫妻来町 11月 町章を制定
昭和46年（1971）	8月 「第1回はたちのつどい」を開催 11月 NHK山田豊間根テレビ中継放送所が開所
昭和47年（1972）	4月 さくら幼稚園を開園 8月 本町出身の湊義雄選手（ボート）が ミュンヘン五輪に出場
昭和48年（1973）	4月 わかば幼稚園を開園 10月 町民グラウンドが完成
昭和49年（1974）	4月 山田町社会福祉憲章条例を制定 8月 山田町役場新庁舎が完成
昭和50年（1975）	8月 常陸宮ご夫妻が四十八坂展望台にお立ち寄り 10月 山田町合併20周年記念、庁舎落成記念 式典を開催。町民憲章、町の花木鳥 「ハマナス」「スギ」「ウミネコ」を制定
昭和51年（1976）	11月 町民歌を制定 10月 大冷害で農作物の被害総額4億1,000 万円
昭和52年（1977）	3月 スルメイカが大不漁 県立山田高校定時制が29年の歴史に幕 8月 県立陸中海岸青年の家がオープン 9月 第1回北日本マラソン陸中山田大会を 開催
昭和53年（1978）	7月 町スポーツ少年団本部を結成
昭和54年（1979）	5月 武徳殿が完成 10月 台風20号の被害総額6億2,600万円 12月 B & G 海洋センター（体育館、艇庫） が完成

「イジマ」で遊んだ
あの
あの
時



白土 盛さん
(境田町・67歳)

長崎地区は、土地区画整理前はすべて田んぼで、きれいな水が流れていました。家が建っていなかったため駅からは畑地区がすべて見えました。現在の山田南小学校の場所に新築された山田中学校の第1回卒業生で、旧校舎（現在の町役場付近）から、山伝いに生徒全員で机を運んだ覚えがあります。ほぼ中央部にはこんもりとした山「イジマ」があり、学校の帰りは「イジマ」に寄って、かくれんぼや周りを駆け回って遊びました。農家の人が田んぼ仕事の休憩場所として休んでいる光景もよく見られました。大昔はこの地区は海であり、「イジマ」がぼっかりと浮かんでいたという話も聞きます。当時から、現在のように住宅地になるとは想像もつきませんでした。時の流れを感じます。



▲国体炬火リレー結団式（昭和45年）



▲町章制定・山田中学校落成記念式典（昭和45年）



▲ホタテの出荷作業（昭和47年ころ、大沢）



▲役場庁舎建築工事（昭和49年）



▲第2回北日本マラソン陸中山田大会（昭和53年）

町のシンボルを制定

昭和四十五年十一月二日、町の発展を象徴する町章が制定されました。町章の制定については、四十年の山田町合併十周年の際、全国から町章のデザインを募集しましたが、採用直前で取り下げた経緯もあり、それまで本町は町章のない町でした。このことから、四十五年九月には岩手国体記念として、町民のみを対象に町章のデザインを募集。応募のあった八十二点の中から近藤隆志さん（当時Ⅱ田の浜・三）の作品（三六参照）が採用されました。五十年十月一日には、より美しく明るい郷土山田町の実現を念願した五つから成る町民憲章と、町の花・木・鳥「はまなす」「すぎ」「うみねこ」が制定され、続いて十一月一日には町民歌が制定されました。町の花・木・鳥と町民歌については、山田町合併二十周年を記念して、町民や町出身者から作品などを募集し、多数の応募の中から審査会で決定したものです。これにより町のシンボルがそろいました。